

【テーマ5】子どもたちの健やかな体をはぐくみます

めざす方向

- ◆PDCAサイクルに基づく学校における体育活動の活性化や、地域・家庭におけるスポーツ活動に親しむ機会の充実により、児童・生徒の運動習慣をはぐくみます。
- ◆学校における食に関する指導や学校保健活動等を充実するとともに、地域や家庭と連携して子どもの生活習慣の定着を通じた健康づくりをすすめます。

運動機会の充実による体カづくり

<今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール等）>	<何をどのような状態にするか（目標）>	<進捗状況（H29.3月末時点）>
<p>■ 体カづくりに関するPDCAサイクルの確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校での「体カづくり推進計画」(*16)の策定を促進し、PDCAサイクル（※）に基づく体カづくりの取組みを図ります。 ※計画による目標設定(P)⇒学校全体での取組み(D) ⇒新体カテストによる検証(C)⇒成果事例の普及(A) <p>■ 運動習慣の確立支援</p> <ul style="list-style-type: none"> * 子どもの体カづくりサポート事業 ・小学校18校（北・中・南各ブロック6校：モデル校）の体育授業にプロスポーツ団体や体育専門の大学から外部指導者を派遣して直接実技指導を行うとともにトレーニングプログラム等を継続的に実践し、子どもの運動に対する意欲・関心を高めます。 ・小学校43校（市町村各1校：拠点校）でダンス関係団体等の指導者が直接指導をするなど、府内小・中学校で楽しく体を動かすことができる運動ツール「めっちゃスマイル体操」「めっちゃWAKUWAKUダンス」(*17)の活用を促進し、児童・生徒が運動を好きになるよう働きかけます。 	<p>◇ 成果指標（アウトカム）</p> <p>（数値目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> * 平成28年度実施の全国体カ・運動能力、運動習慣等調査において、以下の指標をめざします。 * 体カテストの5段階評価で下位ランク（D・E）の児童の割合を減らします。 （参考）平成27年度 小学校5年男子35.0%（全国29.9%） 小学校5年女子32.0%（全国24.8%） * 運動やスポーツをすることが好きな子どもの割合を増やします。 （参考）平成27年度 小学校5年男子 「好き」72.0%（全国74.0%） 「やや好き」20.6%（全国19.9%） 平成27年度 小学校5年女子 「好き」52.0%（全国56.4%） 「やや好き」33.0%（全国31.6%） * 体育授業以外で継続的に体カ向上に取り組む公立小学校の割合を増やします。 （参考）平成27年度 82.1% 	<p>■ 体カづくりに関するPDCAサイクルの確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校における体カづくりにかかる、PDCAサイクルの確立のため、「体カづくり推進計画」の「ひな形」及び記入例を4月に市町村教育委員会に示した。 <p>■ 運動習慣の確立支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・17市町18小学校の体育授業にプロスポーツ団体や体育専門の大学から外部指導者を派遣した。 ・43市町村43校に、ダンス専門の指導者を派遣し、「めっちゃスマイル体操」「めっちゃWAKUWAKUダンス」について直接指導を行った。また、6月、12月に小学校教員対象に実技研修会を実施した。（121名参加） <p>▶</p> <p>・平成28年度全国体カ・運動能力、運動習慣等調査結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体カテストの5段階評価で下位ランク（D・E）の児童の割合 小学校5年男子35.1%（全国29.7%） 小学校5年女子30.6%（全国23.7%） ・運動やスポーツをすることが好きな子どもの割合 小学校5年男子 「好き」71.1%（全国73.0%） 「やや好き」20.9%（全国20.4%） 小学校5年女子 「好き」52.5%（全国56.7%） 「やや好き」32.0%（全国31.0%） ・体育授業以外で継続的に体カ向上に取り組む公立小学校の割合 平成28年度 88.0%

■ 体カづくりに向けた取組みへの支援

* 子ども元気アッププロジェクト事業 

- ・スポーツ大会（ドッジボール、なわとび、駅伝）を開催し、府内小学校における体カづくりの取組みを支援します。また、「元気アップ新聞」を活用し、運動機会の重要性を家庭に発信します。



は、公私双方を対象とする取組み

* 元気アッププロジェクト事業に35以上の市町村からのエントリーをめざします。

(参考) 平成27年度
3大会に23市町村がエントリー

■ 体カづくりに向けた取組みへの支援

- ・事業周知のため、昨年度エントリーのなかった20市町村を直接訪問するとともに私立学校に対してもエントリーを働きかけた。
- ・スポーツ大会に新たに3市からエントリーがあった。(平成28年度26市町村157チーム)
- ・7月、12月、3月に「元気アップ新聞」を府内全小学校に配付した。(府内小学校約1000校、児童・教職員約52万5000人)

(元気アッププロジェクト事業にエントリーした市町村数
平成28年度 3大会に26市町村がエントリー)

学校・家庭・地域の連携による生活習慣の定着を通じた健康づくり

<今年度何をするか(取組の内容、手法・スケジュール)>

■ 食に関する指導の充実

- ・食に関する指導の全体計画に基づいた食に関する指導が、確実に実践されるよう校内体制の整備を促進します。

<何をどのような状態にするか(目標)>

◇成果指標(アウトカム)

- (数値目標)
- * 平成28年度中に、「食に関する指導」の推進体制を整備した小・中学校の割合100%をめざします。
- (参考) 平成27年度 94.6%

<進捗状況(H29.3月末時点)>

■ 食に関する指導の充実

- ・市町村教育委員会に働きかけた結果、「食に関する指導」の推進体制を整備した小・中学校の割合は99.8%(1,448/1,451校)となった。

【部局長コメント(テーマ5総評)】

<取組状況の点検>

■ 運動機会の充実による体カづくり

目標を一部達成することができました。

- ・体カづくりに関するP D C Aサイクルの確立については、「体カづくり推進計画」の「ひな型」及び記入例を示し策定を促した結果、策定率が、昨年を大きく上回りました。また全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、体カテストの5段階評価で下位ランク(D・E)の児童の割合については、女子の割合は、1.4ポイント減少し改善されたものの、男子は昨年度に比べ、0.1ポイント増加しました。
- ・運動やスポーツをすることが「好き」「やや好き」と回答した子どもの割合は、大阪府全体

<今後の取組みの方向性>

■ 運動機会の充実による体カづくり

- ・「体カづくり推進計画」が未策定の学校へは引き続き策定を促すとともに、策定している学校へは全国体力運動能力、運動習慣等調査等により、取組みの検証を行い、必要な改善等が行われるよう市町村を通じて働きかけます。
- ・「子どもの体カづくりサポート事業」で得られたノウハウをまとめた実践事例集を活用した

自己評価

一部達成

では昨年度に比べ0.5～0.6ポイント減少しましたが、「子どもの体力づくりサポート事業」に取り組んだ18校の実践校では、90.7%、43校の拠点校では、91.2%となり、それぞれ事業前に比べて、4.0ポイント、2.9ポイント上昇しました。

- ・体育授業以外で継続的に体力向上に取り組む公立小学校の割合については、昨年より5.9ポイント上昇しました。
- ・体力づくりに向けた取り組みへの支援については、学校での取り組み成果発表の場として、子ども元気アップ3大会の周知を図ったところ、参加は昨年度3市増加したものの、目標とする35市町村には達しませんでした。

■ 学校・家庭・地域の連携による生活習慣の定着を通じた健康づくり

当初の目標をほぼ達成することができました。

- ・「食に関する指導」の推進体制整備率については、99.8%となりました。

教員対象の研修会を実施し、府内全小学校に事業成果の共有を図ることで体力向上に取り組めます。

- ・ジャンプアップ大会（11月）、駅伝大会（2月）を開催し、引き続き体力づくりの取り組みを支援するとともに、「元気アップ新聞」で頑張っている学校を取り上げるなど、学校の取り組みを支援します。またオリンピックによる体験教室等を実施することにより、2020年東京オリンピック開催機運を醸成し、子どもたちのスポーツへの興味関心を高めます。

■ 学校・家庭・地域の連携による生活習慣の定着を通じた健康づくり

- ・引き続き、推進体制が整備されていない学校を所管する市町村教育委員会に対しては、推進体制が整備されるよう、働きかけていきます。